



### 1月30日「2024年度総合車両センター業務量等について」提案を受け、 3月4日東地申第54号「2024年度総合車両センター業務量等」・「大宮総合車両センター 保全科内の組体制の見直し」・「技術センターの再編」に関する申し入れを行う！（その1）

1月30日、地本は首都圏本部より「2024年度総合車両センター業務量等について」提案を受けました。各総合車両センターの役割を明確にした上で、技術技能継承を確実に進め安全で品質の良い車両を提供できる体制を確保していくことが重要です。

しかし、この提案の中で別内容の施策の提案や、本社施策の提案が行われました。別内容の施策と一緒に提案し労使議論を形骸化させることは認められません。

地本は東地申第54号を申し入れ、施策の内容とその進め方について議論していきます。

#### <提案内容>

#### 1 主な実施内容

##### (1) 東京総合車両センター

- ① 大宮総合車両センター及び長野総合車両センターとの一部定期検査の業務量調整
- ② 大宮総合車両センター及び秋田総合車両センターとの一部改造工事の業務量調整
- ③ 各種改造工事の施工

##### (2) 大宮総合車両センター

- ① 東京総合車両センターとの一部定期検査の業務量調整
- ② 東京総合車両センターとの一部改造工事の業務量調整
- ③ 各種改造工事の施工
- ④ 保全科内の組体制の見直し

##### (3) 長野総合車両センター

- ① 東京総合車両センターとの一部定期検査の業務量調整
- ② 各種改造工事の施工

##### (4) 技術センターの再編

- ① 東京総合車両センター電子機器技術センターを電機・電子機器技術ユニットとする。
- ② 大宮総合車両センター台車輪軸技術センターと長野総合車両センター材料技術センターを統合し走行装置技術ユニットとする。

#### 2 2024年度定期検査及び改造工事概要

(その2以降に記載します)

#### 3 実施箇所

東京総合車両センター、大宮総合車両センター、長野総合車両センター

#### 4 実施時期

2024年4月1日

大宮総合車両センター保全科内の組体制の見直しについては、2024年7月1日とする。

#### 5 その他

施策実施に向けた必要な準備を進めていく。

2024年度定期検査及び改造工事概要については、その2・その3、提案箇所体制についてはその3、提案時の議論についてはその4・その5、申し入れ内容についてはその6をご覧ください。



**1月30日「2024年度総合車両センター業務量等について」提案を受け、  
3月4日東地申第54号「2024年度総合車両センター業務量等」・「大宮総合車両センター  
保全科内の組体制の見直し」・「技術センターの再編」に関する申し入れを行う！（その2）**

### 2024年度定期検査及び改造工事概要

#### ○東京総合車両センター

##### 1 定期検査概要

###### (1) 定期検査両数(西エリア)

車種	両数
EC	1574両

###### (2) 配置両数

車種	検査	形式	両数
EC	A・B保全	E235系	550両
	機能保全	E655系	1両
合計			551両

##### 2 主な改造工事

件名	編成数
中央快速線グリーン車導入・ 普通車トイレ導入に伴う車両改造工事 (豊田車両センター E233系)	1編成
中央快速線ホームドア導入に伴う 車両改造工事 (豊田車両センター E233系)	1編成
E231系機器更新工事(Ⅲ期) (国府津車両センター E231系)	8編成
E231系機器更新工事(Ⅲ期) (小山車両センター E231系)	1編成
長編成ワンマン(山手線)、 ATACS車両改造工事 (東京総合車両センター E235系)	11編成
長編成ワンマン運転(京浜東北線)、 ATACS車両改造工事 (さいたま車両センター E233系) ※機器更新工事含	12編成
SS・UTラインへの可動式ホーム柵 導入に伴う車両改造工事 (小山車両センター E231系)	3編成

##### 3 その他工事

車種	件名	編成数
EC	東京臨海高速鉄道(車体保全)	2編成

#### ○大宮総合車両センター

##### 1 定期検査概要

###### (1) 定期検査両数

車種	両数
EC	371両
SL	2両
合計	373両

###### (2) 配置両数

車種	検査	形式	両数
EC	交番検査	185系	12両
		253系	12両
	機能保全	E257系	189両
		E261系	16両
合計			229両

##### 2 主な改造工事

件名	編成数
E231系機器更新工事(Ⅲ期) (国府津車両センター E231系)	10編成
E231系機器更新工事(Ⅲ期) (小山車両センター E231系)	1編成
SS・UTラインへの可動式ホーム柵 導入に伴う車両改造工事 (小山車両センター E231系)	5編成
211系当面使用に伴う延命化工事 (高崎車両センター 211系)	10編成



**1月30日「2024年度総合車両センター業務量等について」提案を受け、  
3月4日東地申第54号「2024年度総合車両センター業務量等」・「大宮総合車両センター  
保全科内の組体制の見直し」・「技術センターの再編」に関する申し入れを行う！（その3）**

### ○長野総合車両センター

#### 1 定期検査概要

##### (1) 定期検査両数

車種	両数
EC	141両
DC	12両
合計	153両

##### (2) 配置両数

車種	検査	形式	両数
EC	交番検査	211系	192両
DC	交番検査	キハ110系	18両
	機能保全	HB-E300系	2両
合計			212両

### 2 主な改造工事

#### (1) EC

件名	編成数
211系当面使用に伴う延命化工事 (長野車両センター 211系)	9編成
特急形車両解錠コック検知機能 追加工事 (松本車両センター E353系)	2編成

#### (2) DC

件名	編成数
キハ100・キハ110系延命化工事	16両
キハ110系当面使用に伴う延命化工事	15両

### 提案箇所体制について

		現行			改正 (2024年4月1日時点)		
		変形等	交代	計	変形等	交代	計
東京総合車両センター	管理	41	2	43	41	2	43
	一般	301	10	311	295	10	305
大宮総合車両センター	管理	36	1	37	36	1	37
	一般	169	4	173	154	4	158
長野総合車両センター	管理	19	1	20	18	1	19
	一般	70	1	71	68	1	69

		2024年4月1日時点			改正 (2024年7月1日時点)		
		変形等	交代	計	変形等	交代	計
大宮総合車両センター	管理	36	1	37	35	1	36
	一般	154	4	158	153	4	157

※東京総合車両センター及び大宮総合車両センターは「2024年3月ダイヤ改正等について」において示した変更後の体制を現行欄に記載している。

※業務の繁閑等に応じて1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。

※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。



### 1月30日「2024年度総合車両センター業務量等について」提案を受け、 3月4日東地申第54号「2024年度総合車両センター業務量等」・「大宮総合車両センター 保全科内の組体制の見直し」・「技術センターの再編」に関する申し入れを行う！（その4）

< 提案時の議論 >

組合

- 昨年大宮・長野の業務量を示すべきと指摘した。今回3つの総合車両センターを提案した理由は。
- 頭書きに「効率的でより生産性の高い業務執行体制を構築」と強調されているがその意図は。
- それぞれの総合車両センターの役割は。
- 社員説明資料の頭書きがなくなった。社員に伝えるように示すべきだ。
- 業務量の考え方について、TKの業務を大宮や長野にもっていくということか。
- 考え方は。
- 改造工事について問題はないのか。
- 改造工事で調整したものは。
- 改造工事の業務量調整の考え方は。
- 保全科内の組体制の見直しとは。
- 組体制の変更による体制の変更は。

会社

- どう提案するか会社で検討し判断した。
- 本体もG会社も採用などの体制が厳しい。そのような状況なのでグループ会社とともに効率的な体制をつくっていく。受ける側のマンパワーもある。
- 変わらない。
- 主張は承った。
- そうだ。
- 新系列車両は増えている。TKで施工数が増えている。これまでも行っている。各総合車両センターの能力をみながら調整している。また、業務の平準化するためでもある。3総合車セとも業務量は来年度落ちる。それぞれの能力を生かしていく。
- これまで施工しているためノウハウはある。問題ない。
- 国府津E231系機器更新工事、小山E231系機器更新工事、可動式ホーム柵導入に伴う改造工事が大宮へ調整。三鷹のE231系800番台3編成（機器更新工事）と国府津E231系7編成（機器更新工事）を秋田へ調整した。
- 改造工事は車セが予算つけて行うものもある。総合車両センターと車両センターとの調整で決まる。
- 現状、入検組・車体1班・2班・出検組・SL組・鉄鋼組がある。これを入検組・車体1班・2班・出検組を融合して5つの組にしていく。どのように融合していくのか、詳細は決まっていない。融合することで多能工化していく。現状は車体組を経験してからでないと入検・出検ができないようになっている。融合することでより早く経験を積めるようになる。
- 業務量は変わらない。変更によって組持ちが1人減となる。



1月30日「2024年度総合車両センター業務量等について」提案を受け、  
3月4日東地申第54号「2024年度総合車両センター業務量等」・「大宮総合車両センター  
保全科内の組体制の見直し」・「技術センターの再編」に関する申し入れを行う！（その5）

<提案時の議論続き>

組合

■大宮総合車両センターの保全科内の組体制の変更は別の施策だから別で提案するべきだ！技術センターの再編についても別の施策だ！再編によって体制も変わるから別の施策であり、労働条件の変更だ！持ち帰り検討すること。

■再編によってどれだけ出面数は変わるのか。

■技術センターの再編とは。

■目的は。

■老朽取替や設備更新について予定されているものはあるか。

■在来の部品を幹総で検修する目的は。G会社の体制が薄いからか。

■今後の業務量はどのように推移していくのか。

■新入社員が少ない中で要員も少ない。必要な要員は確保していくべきだ。

会社

■再提案する考えはない。主張は承る。

■TKは変わらない。長野が管理変形△1、一般△2。その分が大宮にいく。大宮は、長野の減少分が大宮に関わる部分だ。一般変形の差分15は業務量の減と技セの分である。

■現在、7つの技術センターがある。

(TK:車両DSユニット、電子機器技術センター、大宮:台車輪軸技術センター、長野:材料技術センター、郡山:計測技セ、秋田:エンジン変速機技術センター、新幹線:保全革新技術センター)

これを、4つのユニットに再編する。

(TK:車両DSユニット、電気電子機器技術ユニット、大宮:走行装置技術ユニット、ディーゼルパワーサブライユニット)

\*新幹線の保全革新技術センターは発展的解消。

■各技セで研究や調査を行ってきたが、鉄道業として深い研究をしていくことや内在化したものを表にだしていく。知見があるので海外へ商品として出していくことだ。4つのユニットで連絡をとりながら行っていく。各技セにある知見を共有してより深い研究や調査を行っていく。

■今持ち合わせていない。交渉であれば示していく。

■主に特急車両の部品で、幹総で知見があるから出している。G会社の体制が理由ではない。

■周期延伸効果はあと数年続き、現在の規模感になっていく。今は谷だが今後山ができる。2027年くらいにあがっていく。

■課題認識は一致する。



**1月30日「2024年度総合車両センター業務量等について」提案を受け、  
3月4日東地申第54号「2024年度総合車両センター業務量等」・「大宮総合車両センター  
保全科内の組体制の見直し」・「技術センターの再編」に関する申し入れを行う！（その6）**

<申し入れ内容>

### 【総合車両センター業務量等】

1. 各総合車両センターの役割と機能を明らかにし、「ミライの車両サービス&エンジニアリング構創」の考え方を含めて各総合車両センターの将来像を示すこと。
2. 各総合車両センターにおいて一部定期検査の業務量調整および一部改造工事の業務量調整を行う目的と考え方を明らかにすること。
3. 各総合車両センターの今後の入場両数および業務量の見通しを示し、余裕をもった工程と要員を確保し各科において業務の平準化を図ること。
4. 各総合車両センターにおける2024年度に行われる老朽取替工事および設備改修について具体的に明らかにし、安全で快適な職場環境を整備すること。
5. 東京総合車両センターにおいて1月1日より業務委託された輪重測定作業について、施策実施日以降も教育が発生したが会社としての認識を示し、今後、施策は準備が整ってから実施すること。

### 【大宮総合車両センター保全科内の組体制の見直し】

1. 本施策を「2024年度総合車両センター業務量等について」の中で提案した根拠を示し、今後別内容の施策については別途提案すること。
2. 大宮総合車両センター保全科内の組体制を見直す目的を明らかにし、どのように体制を変更するのか具体的に示すこと。
3. 本施策によって提案箇所体制が変形等一般1減となる根拠を明らかにすること。

### 【技術センターの再編】

1. 本施策を「2024年度総合車両センター業務量等について」の中で提案した根拠を示し、今後別内容の施策については別途提案すること。また、本施策は本社施策であると認識しているが会社の認識を示すこと。
2. 各総合車両センターにおける技術センターを再編する目的を示し、それぞれの技術センターが今後どのような役割を担っていくのか明らかにすること。
3. 本施策に関わる提案箇所体制の変化について具体的に明らかにすること。

**1月1日実施の委託施策について、施策実施以降も教育が行われているなど準備不足だ。  
今回の施策もそのようになってはならない！そして、**

**別内容の施策を一緒に提案し**

**労使議論を形骸化させることは認められない！**

**施策の内容とその進め方について議論していきます！**